



輝け！北っ子！

顕彰祭にむけて ～剣舞クラブのがんばりをみんなで応援～

18日に、剣舞クラブの壮行会がテレビ放送で行われました。剣舞クラブは28日二本松市民会館で行われる二本松少年隊を引く「顕彰祭」に参加します。これまでのがんばりと顕彰祭での堂々とした舞の披露を願って児童会集会委員会が企画してくれたものでした。集会委員会代表挨拶、エール、剣舞クラブ代表の謝辞、剣舞の披露（VTR）とお昼の時間の短い時間でしたが、とても思いのこもった内容の濃いものになりました。



子どもたちの様子を見ていて「頑張っている人を自分たちのできることでみんなで応援する」ととてもすてきなことだどつくづく感じました。そこには、ものの上手下手等全く関係なく、あるのは「頑張っ」て」という思いだけ。とても心が温くなる時間でした。そして、その思いを受けとった剣舞クラブはさらに力を得て、心のこもった舞を披露してくれることと信じています。

頑張れ！！剣舞クラブ！！

ちょっといい話「あいさつ隊登場」 ～きっかけは「なんとなく」でも 「楽しかったから」そしてこれからは・・・～

6年生が、校門前で全校生を迎える「あいさつ運動」は北小の朝を象徴する活動として定着してきました。6年生が元気に全校生を迎える姿は、見ていてとてもうれしくなります。

そんな6年生に新たに「あいさつ隊」ができ、活動しています。メンバーは4人。小森愛斗さん、大沼賢叶さん、安齋結愛さん、若松璃乃さん。やっている活動はとても簡単なものかもしれませんが、実に楽しそうに活動しています。活動は「朝と下校時の2回、職員室によって4人できちんと挨拶をする」というものです。きっかけややってみての気持ちなど聞いてみました。

Qどんなきっかけではじめたの？

A下校時に職員室の前を通りがかったときに、「なんとなく」職員室の先生方に挨拶してみたらどうかなと軽い気持ちで始めました。

Q男女4人で集まった理由はなにかありますか？

A全くの偶然です。たまたま始めたときに一緒にいたというだけです。

Qなんとなく始めた活動なのに、一回だけでなく続けるようになったのはなぜ？

A一番は「楽しかったから」だと思います。6年生の役割をしているという感じもあるし、朝は「これから一日頑張れそう」帰りは「今日も一日頑張れたなー」と思えてきて・・・。職員室の先生方に挨拶してもらえるのもとてもうれしいので続いています。

Qこれからはどうするの？

A卒業まで続けていきたいと思っています。そして、できれば下級生達の中で引き継いでいく人が現れてくれたらうれしいなと思っています。

きっかけとなることはそんな大それたものではないかもしれませんが、でもとにかく「行動」してみても、「楽しさ」を感じれば続けるエネルギーになるのは間違いのないようです。何事に関しても、「行動化」／「楽しさ」は「変容」のキーワードかもしれません。

